

[様式1] 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月27日		記入者		連絡先 2606
部 名	保健福祉部	課 名	保育課		課長名 大村 秀雄
事務事業名	施設維持補修費（本課分）				
予算上の事務事業名	施設維持補修費（本課分）				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	13110	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 保育環境の整備・充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
児童福祉法、児童福祉法施行令					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
公立保育園の快適で安全な保育環境整備のため、施設補修工事等を実施する。 ※施設数の推移 H16年度まで 18園 H17年度 17園（民営化により1園減） H18年度 27園（市町合併に伴い10園増） H19年度 30園（市町合併に伴い3園増）			公立保育園		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
改修工事		古淵保育園調理室冷房設置工事 3,413千円		調理室改修工事に伴う給食運搬委託 265千円	
		東林保育園調理室冷房設置工事 2,709千円		その他小破修繕 13,783千円	
大規模修繕					
		麻溝台保育園保育室床修繕 3,150千円			
		谷口保育園園庭防砂ネット取付 1,029千円			
		南上溝保育園便所等改修修繕 4,064千円			
		陽光台保育園乳児用床等修繕 2,557千円			
		麻溝保育園フェンス取替修繕 1,397千円			
6 関連・類似事業や他市の状況					
公立保育園については、市が施設維持のための修繕を行う必要がある。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	29,371	34,769	32,367	30,466	34,620
一般財源	29,371	32,013	32,367	30,466	34,620
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	2,756	0	0	0
人件費の合計	1,202	1,211	1,211	1,211	1,211
事業コスト合計	30,573	35,980	33,578	31,677	35,831
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	施設維持補修費			対象名称と単位	公立保育園数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	29,371	34,769	32,367	30,466	34,620
対象数	18	18	17	27	30
単位あたり経費(円)	1,631,722	1,931,611	1,903,941	1,128,370	1,154,015
前年度比		1.18	0.99	0.59	1.02

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	修繕実施保育園数	指標式と指標の説明	修繕実施園数／公立保育園数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	18.0	18.0	17.0		
目標	18.0	18.0	17.0	27.0	30.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	大規模修繕の実施率	指標式と指標の説明	当該年度実施件数／大規模修繕の年度ごと予定件数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	5.0	6.0	5.0		
目標	5.0	6.0	5.0	10.0	—
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		公立保育園の機能と保育環境の維持に不可欠な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
工事・大規模修繕については、毎年各園の要望を集約して児童の安全と健全な育成、職員の労働環境の向上等を勘案しながら優先度を決定し、実施している。			合併に伴う施設増により、大規模修繕・小破修繕とも増加することが見込まれるが、予算上の制約があるため、執行に当たっては優先度判断等をより慎重に行う必要があると考える。		
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			